

中学生連載企画

私たちのふるさと松山学 No.44

日浦地区の歴史を学ぶ

森を育てる林業では、山林の密集状態を解消するために「間伐」を行い、間伐材の処分方法として、炭焼きが行われます。

日浦地区は、昔から農業・林業が盛んで、農業ができない冬場に炭をつくっていました。間伐を行い、森に十分な栄養を与えることで、木を大きく育てているので、炭焼き活動が緑豊かな森を守ることにつながっていることを知りました。

みんなで炭焼きを学ぶ

よりよい炭をつくるためには、炭焼きに適した木を使います。私たちが使ったのは、クヌギです。炭焼きにはスギ、ヒノキそしてコナラなどを使うこともありまます。これらの木々が育つには、長い時間がかかります。苗木の周りにはたくさん雑草が生えてきます。その雑草に負けないくらいに木々が育つには、5〜8年くらい時間が要ります。よい木を育てるためには、丁寧に手入れをしなけ

日浦中学校

未来へつなぐ 緑豊かな日浦の里づくり

私たちは総合的な学習の時間に、「炭焼き」「ホタルやヒメユリの保護」などの日浦緑の少年団活動を行い、環境保全について学んでいます。

ればならないので、炭焼き活動には多くの手間がかかっていることを知りました。

〈炭焼きの工程〉
木の長さをそろえる → 窯の中に炭になる木を並べる → 窯の入り口付近と入り口にレンガを組む → 窯の入り口で着火する → 窯の温度がおよそ270℃になると入り口をふさぐ → 5日ほどかけ窯の温度が下がったら、窯の中から炭を取り出す



炭焼き活動

みんなで考える環境問題

現在、日本の人工林は高齢化や担い手不足で人手が入らず荒れています。間伐を行わない森林は、木が混み合い、太陽光が入りにく



みんなの生活展で活動紹介

このイベントでたくさんの方が、私たちの発表を真剣に聞いてくれました。「これからもがんばってね」などと応援の言葉もいただき、この活動をしてきて達成感を覚えました。

みんなの生活展で発表

毎年10月、大街道で行われる「みんなの生活展」に出展し、私たちの活動を紹介しています。

日浦緑の少年団活動を通して

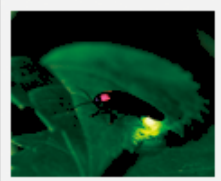
私たちは、3年間の日浦緑の少年団活動を通して、たくさんの方を学びました。炭焼き活動では、昔の人の技術や伝統を受け継ぐことの大切さ、仲間と協力する大切さを学びました。ホタルやヒメユリの保護活動では、自然の大切さや命

ホタルの保護活動

作成者

松山市立日浦中学校
2年生(日浦緑の少年団)

ホタルの紹介 ホタルは、世界中で約2000種が発見されています。日本では、約10種が生息しています。約1年間水中で過ごしますが、成虫として羽ばたける時期は2週間ほどです。一般に、オスよりもメスの方が大きいです。また、よく飛ぶのはオスで、メスはお気に入りのオスがやって来るのを待っているようです。オスはよく光るため、発光器を2つもっています。幼虫の時期の餌は、カワニナです。成虫になってからは、水しか飲みません。だから、ホタルは水がきれいな場所では、観ることができません。個体数は全国的に減少しています。



私達が体験すること

①ホタル飼育法の学習 ②ホタルの生態を地域の人や小学生に紹介 ③ホタルの個体数の調査 ④ホタルの捕獲 ⑤ホタルの飼育(成虫に卵を産ませてから幼虫が大きく育つまで) ⑥放流
5月に、先輩からホタルの飼育の仕方を学びます。日浦中学校の伝統で、毎年先輩から後輩に引き継がれています。6月中旬に、日浦地区の各場所で、ホタルの個体数を数える調査を行います。昭和61年から始めた日浦中学校の調査結果では、平成28年から減少傾向です。そこでホタルの保護活動としてホタルの成虫を捕獲し、学校で飼育しています。ホタルの成虫を大きく育てるために餌となるカワニナを与え、サナギになる前に、日浦の川に放流します。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

捕獲したホタルが卵を産んでくれた時、とても嬉しかったです。卵から出てきた幼虫は、最初は、目で確認できないくらい小さかったのに、いつのまにか大きく成長していたので、びっくりしました。

大変だったこと、難しかったこと

幼虫の餌のカワニナを捕獲することが難しかったです。カワニナも、どこにでもいるわけではなく、探すのが大変でした。また、幼虫の成長に合わせてカワニナのサイズを大きくしなければならぬので苦労しました。

感想

日浦の自然から学んだこと

水がきれいな場所では、育てたいホタルの命は、はかなくて弱く思えます。でも、命をつなぐために必死で光る姿を見て、感動しました。自然環境やホタルについて、知れば知るほど自然の偉大さを感じました。

全体を通して考えたこと

日浦はとても自然が豊かな地域に見えますが、この日浦でさえホタルの数が減ってきています。誰かが自然を守ってくれると思わず、自然環境を守るために自分に何が出来るかを真剣に考え行動したいと思っています。

緑豊かな日浦地区の自然を守っていききたい

3年生は来年3月で日浦中学校を卒業しますが、これからも緑豊かな自然を守るために、日浦緑の少年団活動を思い出しながら行動していきます。



の大切さを学ぶことができました。また、1年間を通して、どの活動も地域の皆さんに協力していただき、本当に感謝しています。これからも、日浦の美しい自然がずっと残るといいなと思います。



「語り継ぎたいふるさと松山百話 I・II・III・IV」は学校教材です



松山ゆかりの先人78人と伝統文化や歴史のお話17話を掲載しています。購入方法など詳細は市教育研修センター事務所 ☎9895144へお問い合わせください。

先人と文化の読み物教材
広がれ！ふるさと松山の心